

「従業員が誇りを持てる会社」を目指した カンボジア工場の挑戦

ミネベアミツミの主力工場にまで発展したカンボジア工場。従業員とともに成長してきた挑戦の経緯と、現在の姿を紹介します。

カンボジア工場がプノンペン経済特区に設立されて7年。約5千名の従業員数と10万㎡の床面積を誇る大規模拠点となった同工場には、これまでの組立工程だけでなく部品の機械加工工程が移管されるなど、ミネベアミツミの主力工場の一つとしての新たな役割が求められています。

カンボジア工場での生産を支えるのは、現地で採用した従業員です。「従業員とともに成長する」という基本姿勢のもと、人材教育に一貫して注力。操業開始当初には読み書きができない従業員も少なくありませんでしたが、始業前に国語の勉強会を開催し、参加を呼びかけ続けた結果、識字率は100%を達成しました。さらに近年では、より付加価値の高いものづくりに対応できるよう、現地の大学や専門学校で電子工学・機械工学を学んだ学生も多く採用。専門技術についても、地元の職業訓練学校との連携により勉強の機会を提供しています。

また、現地の従業員の誰にでも管理職に登用されるチャンスがあることが大きな特長です。誰もが最終的にはマネージャー職まで目指せる開かれた昇格制度により、ラインリーダー、シニアラインリーダーとして活躍する従業員も増えました。これは、「カンボジア人は現場作業で、外国人がその管理者」という一般的な風潮とは一線を画したものです。従業員の間には「自分たちの工場を自分たちで良くしていく」という意識が年々高まっています。こうした背景から、生産性は着実に向上してきました。

CAMBODIA

プノンペン経済特区



2018年には新たな従業員寮を整備し、だれもが安心して快適に暮らせる環境づくりを進めました。ミネベアミツミの社は「五つの心得」にもある「従業員が誇りを持てる会社」の実現を目指し、カンボジア工場の挑戦は続いています。



カンボジア工場人事総務メンバー

VOICE



ミネベアミツミの従業員として働くことが誇りです

Minebea (Cambodia) Co., Ltd.
Manufacturing Micro Actuator
Labor Control
Hakley Am

わたしは2011年からカンボジア工場で働いています。入社後3カ月間のタイ研修の後、カンボジアに戻りマイクロアクチュ

エータ課で製造に携わりました。タイで学んだことをカンボジア工場の従業員に伝えられるように勉強を続けてきました。こうした努力や、業務の経験が評価されて、オペレーターからスタッフへの昇格試験のチャンスをもらいました。今ではスタッフとして勤務しており、「優れた従業員」の表彰をいただきました。

カンボジア工場では多くの従業員がやりがいをもって働いています。わたしも自分の仕事が大好きです。ミネベアミツミの従業員として働くことが誇りです。